



財務部

## 県内企業の景況感 現状、先行きとも 全産業で「上昇」超

その1

大蔵省景況予測調査結果から  
財務部が平成十二年二月に県内の  
資本金一千万円以上の法人企業（金融・  
保険を除く）を対象に実施した大蔵  
省景況予測調査結果の概要を紹介し  
ます。

### 1 景況判断

現状（十二年二月期）では製造業、  
非製造業ともに「上昇」超に転じてい  
ることから全産業でも「上昇」超に転  
じている。

先行きについては、十二年四月～六月  
期は製造業で「下降」超に転じるものの、  
非製造業で「上昇」超幅が大幅に拡大  
することから全産業でも「上昇」超  
幅が大幅に拡大する見通しとなっている。  
十二年七月～九月期は製造業で再び「上

昇」超に転じるほか、非製造業で「上昇」  
超で推移することから、全産業では引  
き続き「上昇」超の見通しとなっている。

### 2 売上高

十二年度通期は、製造業、非製造業  
とも増収とみており、全産業では五・  
八%の増収見込みとなっている。

十二年度上期は、製造業、非製造業  
とも増収とみており、全産業では二・  
%の増収見通しとなっている。

### 3 経常損益

十二年度通期は、製造業、非製造業  
とも大幅な増益とみていることから  
全産業では三三・九%の大幅な増益見  
込みとなっている。

十二年度上期は、製造業、非製造業  
とも増益とみていることから全産業  
では二・二%の増益見通しとなっている。

### 4 設備投資

十二年度の設備投資計画を前年度  
比でみると、製造業で十七・八%の増  
加となっているものの、非製造業で三・  
六%の減少となっていることから全産  
業では二・二%の減少見込みとなつて  
いる。

十二年度の設備投資計画は、現時  
点では不確定要素はあるが、製造業、  
非製造業とも減少する見通しとなつ  
ており、全産業では十七・八%の減少  
計画となっている。

### 5 従業員数

現状では、製造業で「過剰気味」超  
幅が縮小し、非製造業で「不足気味」  
超で推移していることから、全産業で  
は「不足気味」超となっている。

先行きについては、製造業で「過剰  
気味」超幅が拡大するものの、ウエイ  
トの高い非製造業で「不足気味」超で推  
移することから全産業では「不足気味」  
超で推移する見通しとなっている。

### 6 金融機関の融資態度

現状では、中小企業で「きびしい」超  
幅が拡大しているものの、中堅企業で「ゆ  
るやか」超に転じているほか、大企業で  
は引き続き「ゆるやか」超となっている。

先行きについては、中小企業で「きび  
しい」超で推移する見通しとなつてい  
るものの、大企業、中堅企業では「ゆる  
やか」超で推移する見通しとなっている。

### 7 資金繰り

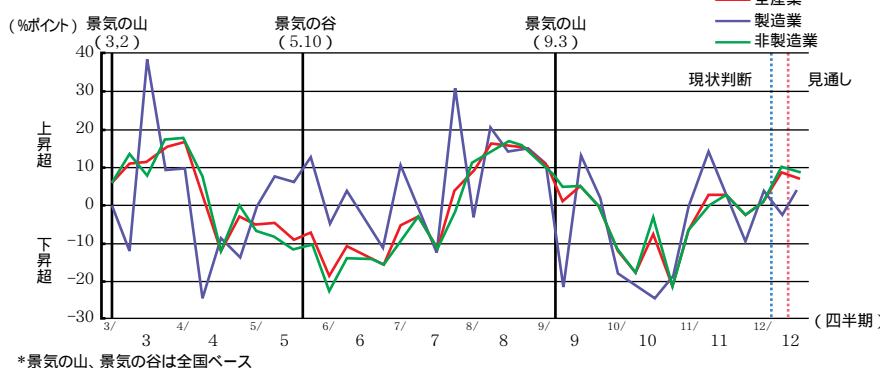
現状では、中小企業で「悪化」超と  
なっているものの、大企業、中堅企業で  
は「改善」超に転じている。

先行きについては、中堅企業で「改善」  
超で推移する見通しとなっているものの、  
大企業では「改善」超幅が縮小した後  
「悪化」超に転じる見通しとなっている  
ほか、中小企業では「悪化」超で推移  
する見通しとなっている。

### 8 中期的な経営課題

全産業では、国内販売体制、営業力  
の強化、を挙げる企業が最も多く、  
次いで、企業実態に即した雇用、人事  
給与システムの確立、後継者、人材  
確保、育成の順となっている。

景況判断BSIの推移（季節調整済）



BSIとは…  
景況動向指数（ビジネスサーベイ・インデックス）をい表の見方は次のとおりです。  
BSI「上昇」等と回答した企業の構成比（「下降」等と回答した企業の構成比）